



仙台フィルが市民に贈る

“Orchestra Standard”

オーケストラ・スタンダード

Vol.11 Vol.12

仙台フィルハーモニー管弦楽団

日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター) コンサートホール



Vol.11

2014

12.3 |水| 19:00 開演
18:30 開場

- ベルリオーズ:
序曲「ローマの謝肉祭」 作品9
- サン＝サーンス:
ヴァイオリン協奏曲第3番 口短調 作品61
- ベルリオーズ:
幻想交響曲 作品14
～ある芸術家の生涯のエピソード～



指揮:パスカル・ヴェロ



ヴァイオリン:リチャード・リン



Vol.12

2015

2.4 |水| 19:00 開演
18:30 開場

- チャイコフスキー:
歌劇「エウゲニ・オネーギン」 作品24 より
“ポロネーズ”
- ショパン:
ピアノ協奏曲第1番 小短調 作品11
- チャイコフスキー:
交響曲第5番 小短調 作品64



指揮:ヨルダン・カムツァロフ

©Amit Katzir



ピアノ:山本 貴志

©Marco Borggreve

各回券(全席指定) ¥3,000 / 2公演セット券 ¥5,000

2公演セット券をご購入の方に、もれなくステッカーを差し上げます。さらに、抽選で20名様に指揮者のサイン色紙をプレゼント。

{ = プレイガイド = (※)のプレイガイドでは、セット券は取り扱っておりません。
 ◎仙台市市民文化事業団 ◎イズミティ21 ◎藤崎 ◎仙台三越
 ◎チケットぴあ(※) ◎ローソンチケット(※) ◎イープラス(※)

注意事項

- ※やむを得ない事情により出演者・曲目などが変更になる場合もございますので、あらかじめご承知ください。
- ※不可抗力により表記日時に催物を中止する場合は、料金の払い戻しをいたしません。
- ※ご来場の際には、近隣の駐車場には限りがございますので、地下鉄やバスなどの公共交通機関をご利用ください。
- ※未就学児の同伴入場はご遠慮ください。
- ※開演(演奏)中の客席への入退場は一切お断りいたします。

チケットのお申し込み・お問い合わせ 仙台フィルサービス TEL:022-225-3934

| 主催 | 公益財団法人 仙台フィルハーモニー管弦楽団 公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台市

9/10(水)
チケット
発売開始!



仙台フィルが市民に贈る

“Orchestra Standard”

オーケストラ・スタンダード

2014
Vol.11 12.3 水

PROFILE
プロフィール

2015
Vol.12 2.4 水



指揮 | パスカル・ヴェロ
(仙台フィル常任指揮者)

Conductor | Pascal VERROT

1959年フランス生まれ。1985年民音指揮コンクールで第3位及び齋藤秀雄特別賞を受賞。小澤征爾の招請によるボストン交響楽団副指揮者就任を皮切りに、ケベック交響楽団音楽監督、新星日本交響楽団首席指揮者を歴任。フランスではピカルディ管弦楽団音楽監督、コンピ

エヌ帝国劇場芸術監督、ディジョン歌劇場音楽監督を務めた。2010年には、ディジョン歌劇場でのプロコフィエフ「3つのオレンジへの恋」がフランス音楽批評家協会クロード・ロスタン賞を受賞。2006年4月より、仙台フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者に就任。2010年の第250回定期演奏会(ドビュッシー「ペレアスとメリザンド」全幕)をはじめ、豊かな色彩と躍動感のある音楽で多くの人を魅了し続けている。2013年3月には、(独行)国際交流基金の依頼で仙台フィルとともにロシアのサンクト・ペテルブルクとモスクワを訪れ、ドビュッシー「海」「夜想曲」などを演奏し満場の喝采を受けた。



ヴァイオリン | リチャード・リン

Violin | Richard LIN

1991年米国生まれ。台湾に育ち、4歳でヴァイオリンを学び始める。16歳の時、グレゴリー・リーとともに渡米。カーティス音楽院にてアロン・ローザンドに師事し、現在はジュリアード音楽院修士課程にてルイス・カブランに師事。2013年

第5回仙台国際音楽コンクール優勝、あわせて聴衆賞を受賞。その他、2011年マイケル・ヒル国際ヴァイオリンコンクール第2位、ナショナル台湾音楽コンクール第1位など、数々の賞を受賞している。ソリストとして、オーケランドフィルハーモニー管弦楽団、オクラホマ市交響楽団、台湾国立交響楽団、ワロニー王室室内管弦楽団など多数のオーケストラと共演し、台湾・米国で多くのソロリサイタルを開催。2010年および2011年には、チーメイアーティスト賞を受賞。



指揮 | ヨルダン・カムツァロフ

Conductor | Yordan KAMDZHALOV

ブルガリアに生まれ、ベルリン芸術大学で指揮を学ぶ。2011年、ハイデルベルク市の音楽総監督に満場一致で任命され、その後、ハイデルベルク歌劇場およびハイデルベルク・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者、ブルガリア国立ソフィア・フィルハーモニー管弦楽団の首席客演指揮者を務めている。2009年バヌラ国際指揮者コンクールで満場一致の第1位を獲得、その翌年にマラー国際指揮者コンクールで第3位入賞を果たした。これまでに、ベルリン・ドイツ交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団、ポルトガル交響楽団、トスカーナ管弦楽団、イギリス室内管弦楽団、アンサンブル・モダン・フランクフルト等と共演。日本では新日本フィルハーモニー交響楽団と共演している。オペラの分野では、ベルリン・コミッシェ・オーパー、ダルムシュタット州立劇場、ボン歌劇場などにも登場し、活躍の場を広げている。



ピアノ | 山本 貴志

Piano | YAMAMOTO Takashi

1983年長野県生まれ。2002年桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を首席卒業後ソリストディプロマコースで学ぶ。2008年ワルシャワ・ショパン音楽アカデミーを首席卒業。2004年度文化庁新進芸術家海外留学研修員。

2005年第4回ザイラー国際ピアノコンクール優勝、ショパン作品最優秀演奏賞受賞。同年、第15回ショパン国際ピアノコンクール第4位、第14回ジナ・バックアウアー国際ピアノコンクールで第2位受賞。第33回日本ショパン協会賞を受賞。大島正泰、玉置善己、ピオトル・パレチニ各氏に師事。その躍動感あふれる演奏は高く評価され、avex-CLASSICSよりショパン:ワルツ集、ノクターン集をリリース。2014年秋よりポーランド在住。

仙台フィルハーモニー管弦楽団

Sendai Philharmonic Orchestra

1973年創立。日立システムズホール仙台での定期演奏会をはじめ、年間約110公演の演奏活動を全国で展開。仙台国際音楽コンクールなど、仙台の音楽文化振興にも貢献している。大震災後は、音楽を被災者のもとに届けながら絆を紡ぐ活動を展開。2011年エクソンモービル音楽賞洋楽部門本賞、渡邊曉雄音楽基金特別支援受賞。2013年3月にはロシアにて被災地の代表として公演。常任指揮者パスカル・ヴェロ、首席客演指揮者小泉和裕、ミュージック・パートナー山田和樹を擁する。

